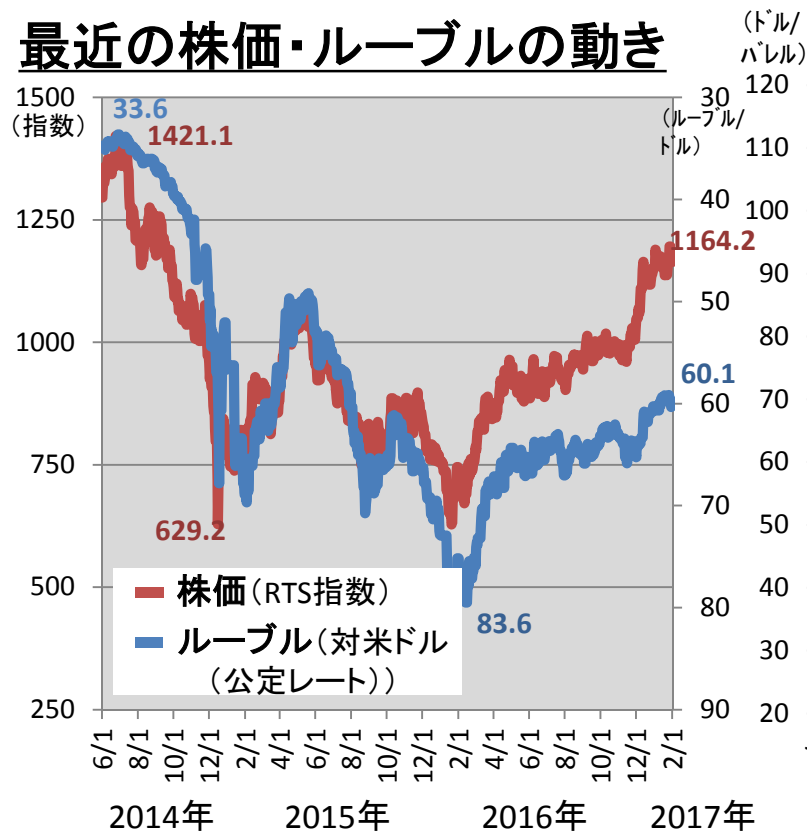


# ロシア経済の現状(1)

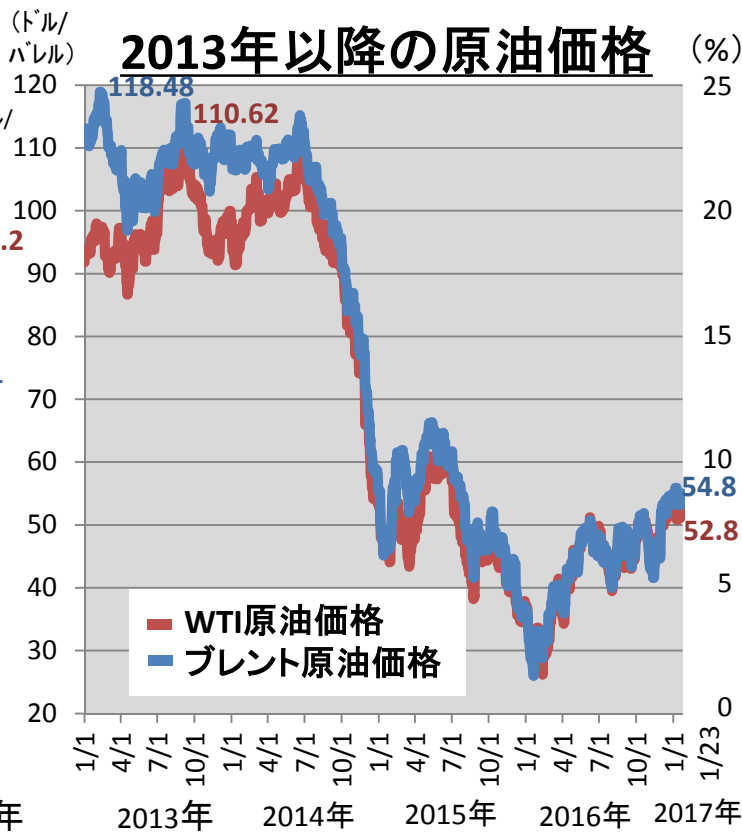
## (株価・ルーブル, 原油価格, インフレ率の推移)

- 株価・ルーブルは、原油価格の下落が大きく影響。現在は約60.1ルーブル/ドルと、2014年6月(33.6ルーブル/ドル)との比較で、価値が約42%減少。
- 原油価格の低迷が長期化すれば、経済全般に大きく影響。エネルギー分野の制裁は、長期的に新規油田・ガス田開発の遅滞要因となりうる。
- 2016年のインフレ率は5.4%(2015年は12.9%, 2014年は11.4%, 2013年は6.5%) (国家統計庁)。ロシアが農産品等の禁輸(対欧米対抗措置)を講じた2014年8月以降、2015年2-3月にインフレはピークを迎えるが、その後は減速傾向。

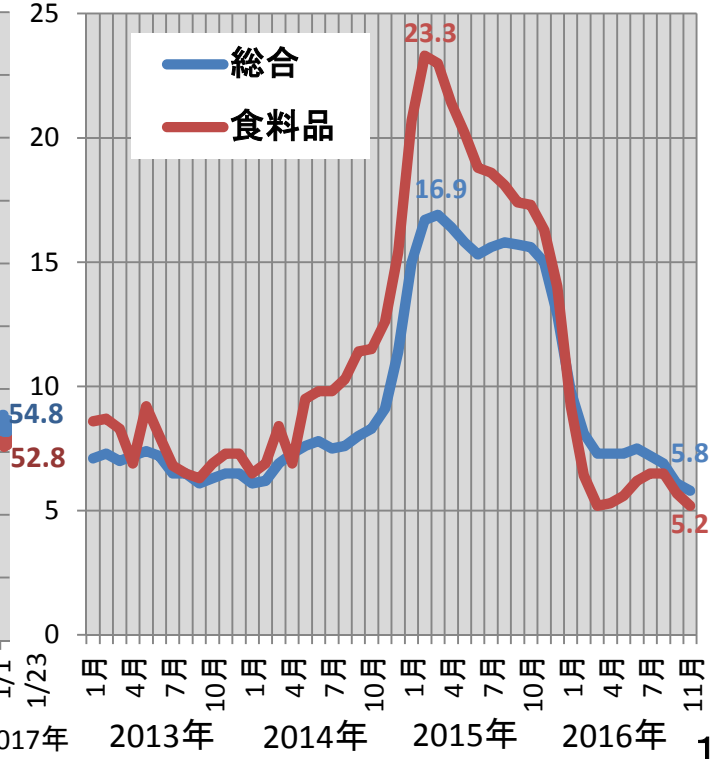
### 最近の株価・ルーブルの動き



### 2013年以降の原油価格



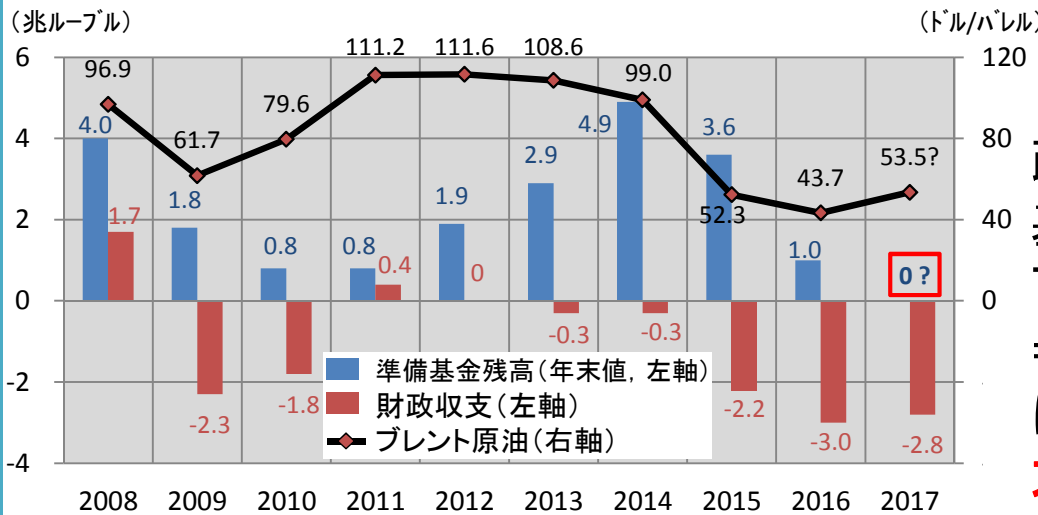
### インフレ率の推移



# ロシア経済の現状(2)

(油価の下落に伴う財政事情悪化, GDP成長率の推移, 外貨準備と対外債務)

## 油価の下落に伴うロシアの財政事情悪化



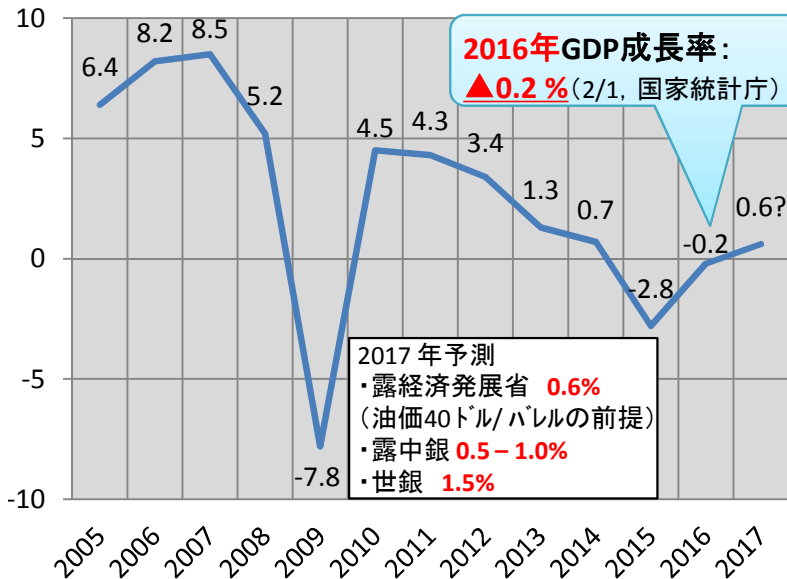
出典: 露財務省, EIA

2015年, 油価の下落により歳入が減少し財政赤字が増大した結果, その補填のため準備基金は減少。準備基金は2017年中に枯渇する可能性あり。

⇒ 国民福祉基金を財政赤字の補填に充てれば(2016年末残高; 4.4兆ルーブル), **2018年3月の大統領選までは持ちこたえられる見込み。**

## GDP成長率の推移

出典: 露国家統計庁



## 外貨準備と対外債務

出典: 露中銀 (億ドル)

外貨準備 (2016年12月末) 3777

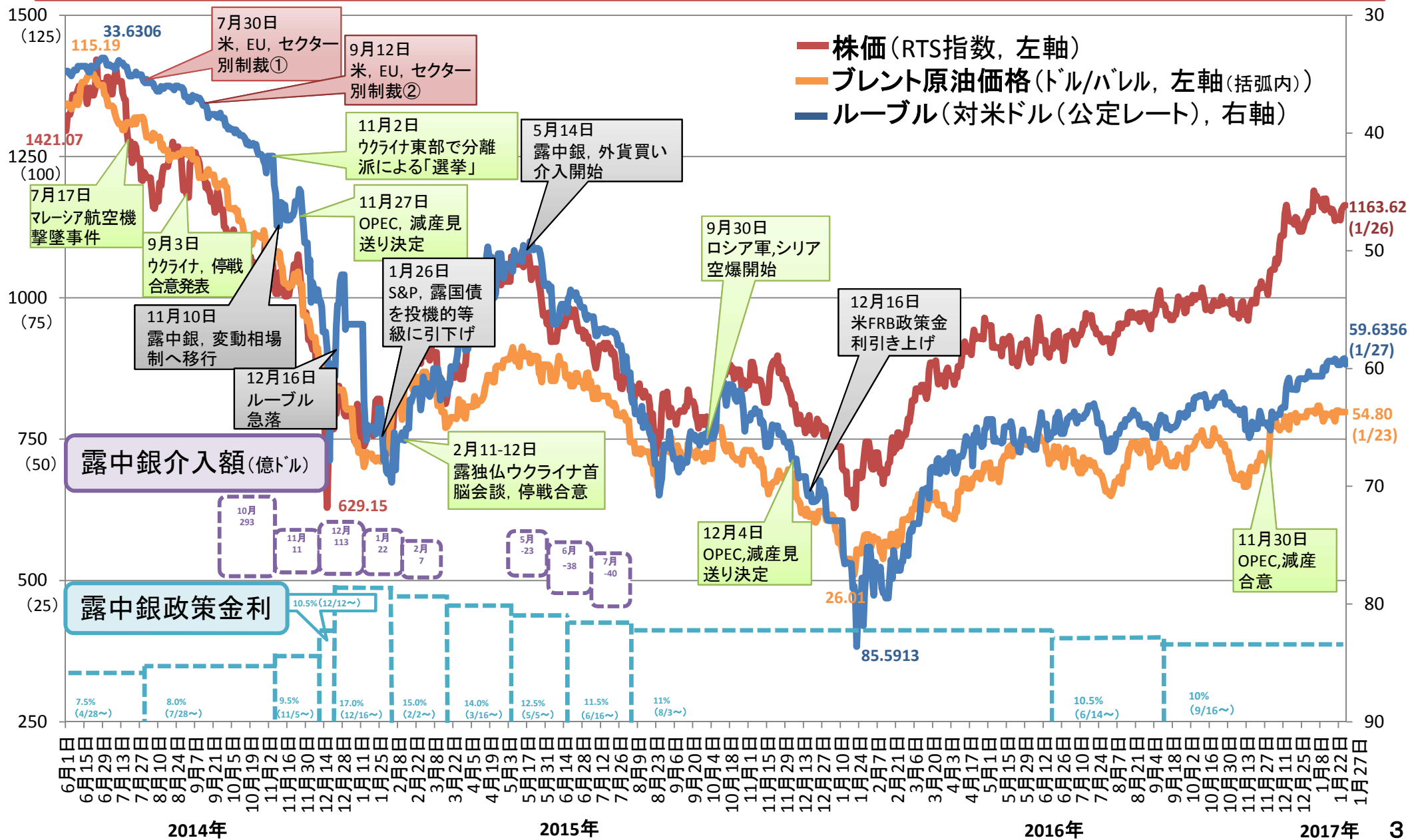
### 対外債務 (2016年9月末)

|       | 1年以内 | 1年~2年 | 2年超  |
|-------|------|-------|------|
| 政府・中銀 | 41   | 26    | 436  |
| 銀行部門  | 421  | 160   | 655  |
| 銀行以外  | 689  | 620   | 2145 |
| 計     | 1152 | 806   | 3236 |

金融分野の制裁により, 主要銀行, エネルギー企業の資金調達が困難となっているが, 2015年に返済を進めた結果, 対外債務は大きく減少(7328億ドル(2014年6月) → 5194億ドル(2016年9月))。

# 最近のロシア株価・原油価格・ルーブルの動き

- ルーブル・株価は、油価下落の底打ち感を経て、上昇傾向が見られる。
- ルーブル・レートは59.64ルーブル/ドル(1/27), 株価(RTS指数)は1163.62(1/26), ブレント原油価格は54.80ドル/バレル(1/23)。



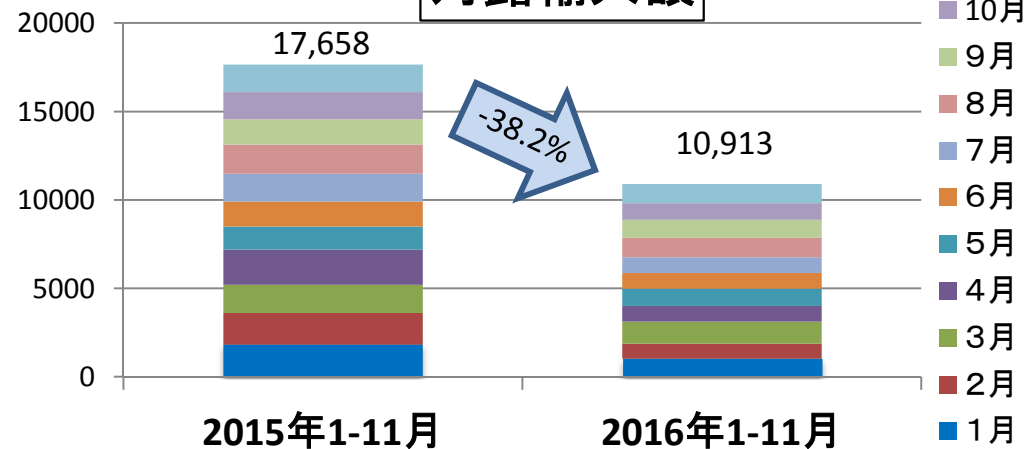
# 日露貿易の現状(2016年1-11月)(1)

前年同時期(1-11月)に比べ、日本側統計によると、日本の対露輸入額は -38.2%、対露輸出額は -10.8%、対露貿易額全体で**-31.5%の減少**。他方、ここ半年(6-11月)では対露輸出額が **6.0%の増加**。前向きな要素も出てきている。

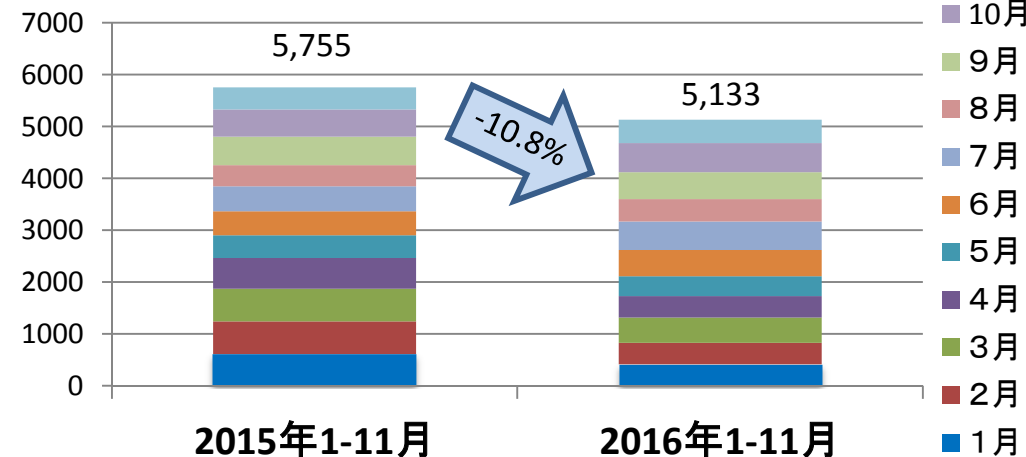
出典:財務省貿易統計

## 1-11月統計

単位:億円



## 対露輸出額



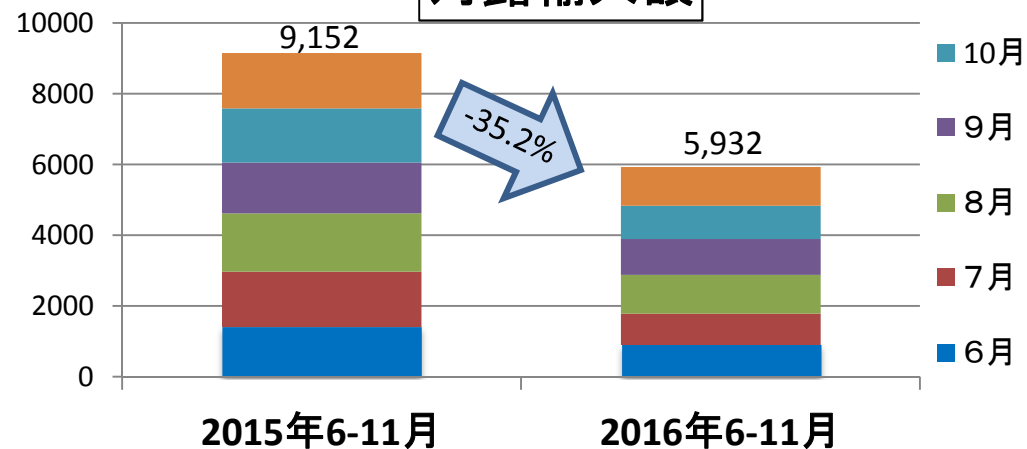
単位:円

|       |          |          |               |
|-------|----------|----------|---------------|
| 輸出入額計 | 2兆3,400億 | 1兆6,000億 | <b>-31.5%</b> |
|-------|----------|----------|---------------|

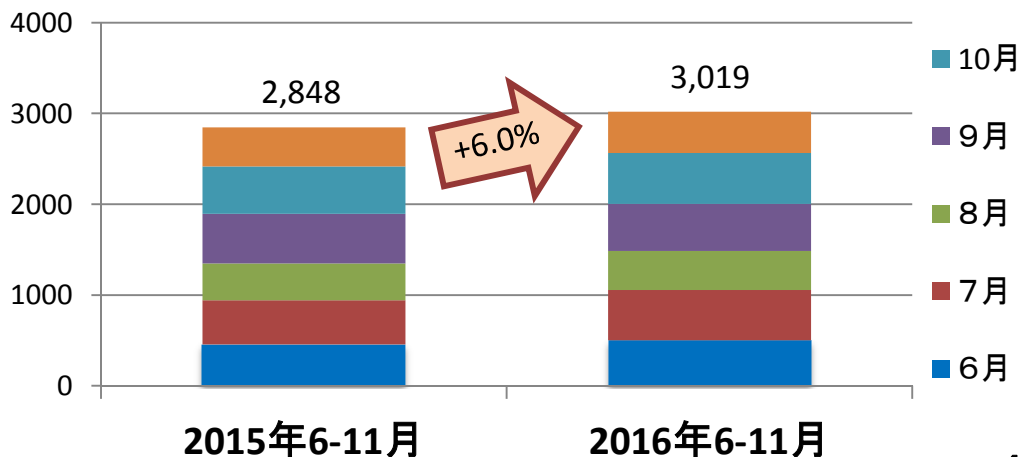
出典:財務省貿易統計

## 6-11月統計

単位:億円



## 対露輸出額



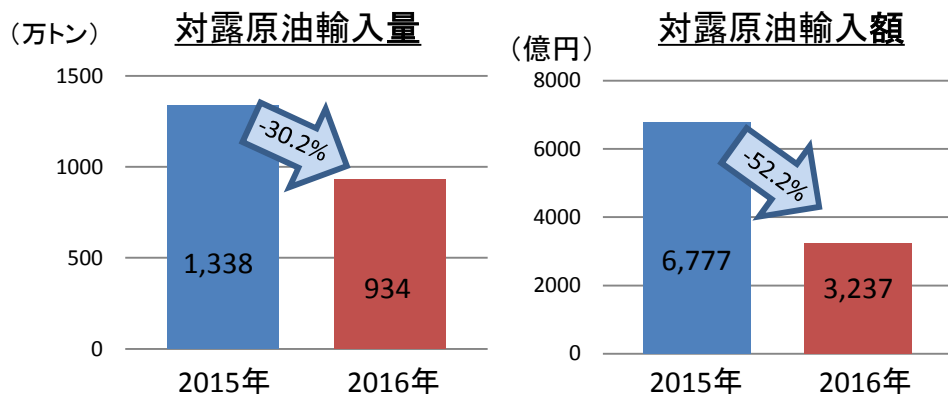
単位:円

|       |          |        |               |
|-------|----------|--------|---------------|
| 輸出入額計 | 1兆2,000億 | 9,000億 | <b>-25.4%</b> |
|-------|----------|--------|---------------|

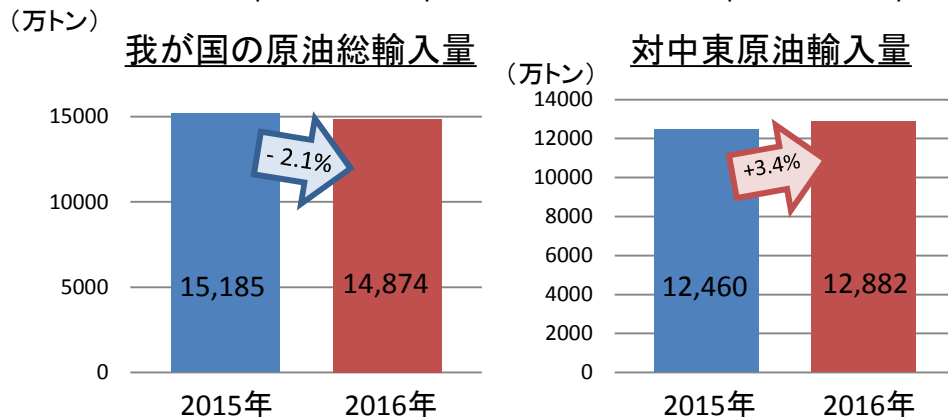
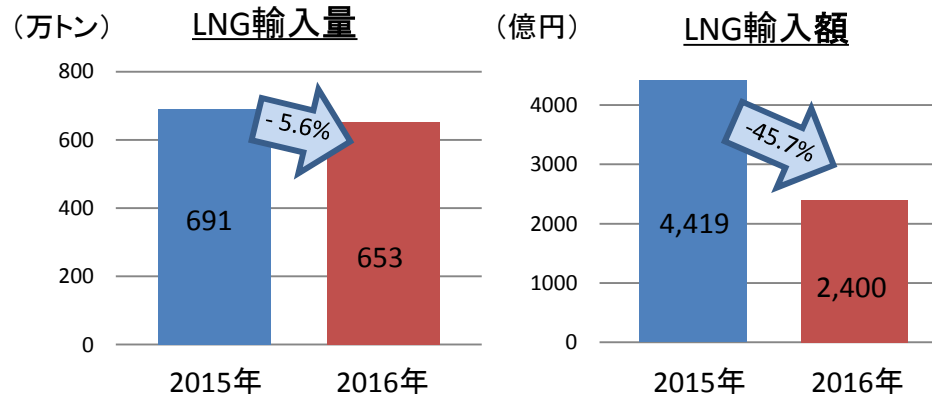
# 日露貿易の現状(2016年11月)(2)

- 日本の対露輸入額全体の約6割を占める原油・LNGのうち、
  - 原油輸入量は昨年同月比 -30.2%。日本の原油総輸入量に大きな変化はなく(-2.1%)、企業判断による供給元の変更(中東からの輸入量は増大)が要因。
  - LNGも輸入量・額ともに減少。**直近3ヶ月(9-11月)では、輸入量は増加(16.2%)**しているが、油価下落により輸入額は減少(-19.6%)。
- 輸出額全体の約6割を占めていた(現在は5割)自動車は、油価下落やルーブル安に伴うロシア経済の低迷を受けて、輸出台数、輸出額ともに減少。他方、ここ半年(6-11月)では輸出台数5.7%増、輸出額22.4%増。近年の減少傾向から増加の兆しが見られる。

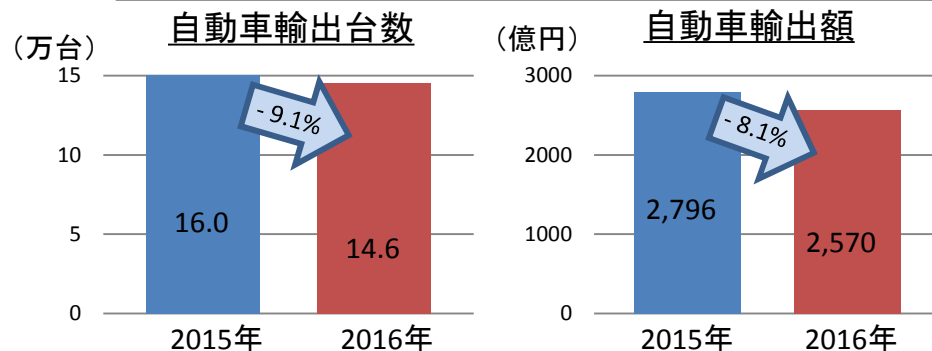
1-11月期の原油輸入



1-11月期のLNG輸入



1-11月期の対露自動車輸出



# 【参考】主要国の対露貿易の現状(2016年11月)

- G7に中国を加えた主要8カ国の中で、ロシア貿易総額の減少幅(-13.0%)よりも対露貿易額の減少幅が大きかった国は、ドイツ(-13.1%)、日本(-25.3%)、イタリア(-35.9%)の3カ国。
- フランス及び中国の対露貿易額は、露への輸入額増によりの前年比増。(ドル建て、ロシア側統計)

出典:ロシア国家統計庁  
単位:億米ドル

## 1-11月のロシアの貿易実績

■ ロシアへの輸入  
■ ロシアからの輸出

